

法人名	横浜市
施設名	横浜市金沢さくら保育園

発表者名 (職名)	工藤 晃子 (保育士)	住所	横浜市金沢区泥亀1-21-1		
発表者名 (職名)		TEL	045-781-9318	FAX	045-781-9326
発表者名 (職名)		メールアドレス	kz-sakura@city.yokohama.lg.jp		
		URL			
		定員	110名	職員数	42名

発表の概要・内容

「意欲的に取組もう！～縄跳びの実践を通して～」

【提案の概要】

子どもたちが主体となり、自分たちでやりたいことの一つとして縄跳びの活動を選び取り組みを進めてきました。子どもたちの思いや葛藤、子ども同士での気付きや工夫を提案します。

【実践】

1. 縄跳びの実践
 - ①個人用の縄跳びを用意する
 - ②友達に跳び方を教えてもらう
 - ③後ろ跳びへのチャレンジ
2. 長縄跳びの実践
 - ①運動会に向けて
 - ②縄を自分で結んでみよう
 - ③自分たちで縄を回して跳んでみよう
 - ④何人で跳べるかな？
 - ⑤遊びの広がり
3. 卒園制作
 - ①長縄を友達と協力して作ってみよう

【考察】

ポイント

1. 主体的な取組と気づき・楽しさの促進
子どもたちが遊びの中で自然に興味や関心を持ち、「やってみよう」と前向きに取り組む姿勢が育まれました。
2. 保育士の援助と子どもたちの自主性
保育士が意図的に活動を設定するのではなく、子どもたちのやりたい気持ちを尊重し、それを実現するためのサポートを行うことで、活動の充実と子どもたちの主体性が高まりました。
3. 協力と葛藤を通じた人間関係の発展
友達と協力したり、時には意見がぶつかることで、協調性や問題解決能力が育まれ、心身の成長につながりました。
4. 様々な取組が「幼児期までに育てたい10の姿」へとつながる
縄跳びの動作だけでなく、「縄を結ぶ」「順番を守る」「心を合わせる」「布を編む」などの活動が、子どもたちの成長につながりました。

メモ